

# せたな町 暮らしのガイド

日々の生活に欠かせない  
医療機関や教育施設、  
買い物などの日常の暮らしの情報！

移住定住支援  
パンフレット

# SETANA LIFE

日本一子育てしやすい町をめざして。

自然に囲まれたせたなで暮らす。



## 医療・福祉施設

|       |     |
|-------|-----|
| 病院    | 2施設 |
| 診療所   | 2施設 |
| 老人ホーム | 4施設 |



せたな町立国保病院

- 診療科目
- ・内科
  - ・整形外科
  - ・婦人科
  - ・循環器内科
  - ・リハビリテーション科
  - ・外科
  - ・小児科



大成診療所

診療科目/内科・外科



瀬棚診療所・瀬棚歯科診療所

診療科目/内科・外科  
整形外科・眼科・歯科

## 温泉施設



温泉ホテルきたひやま



貝取淵公営温泉浴場



公営温泉浴場やすらぎ館



真駒内ダムキャンプ場

## レジャー

海釣り（釣り情報誌でも取り上げられるほどの有名スポット）・川釣り、  
全道屈指の広さを誇るパークゴルフ場、  
バリアフリーレジャーが楽しめる三本杉海水浴場、  
自然観察ができる真駒内ダム公園キャンプ場など自然の中で一日中楽しめる。

## 保育・教育

- ・保育所 2か所
  - ・小学校 3校
  - ・認定こども園 1か所
  - ・中学校 3校
- ※令和5年4月1日現在

## 生活

- ◆スーパー・食料品店
- ◆ドラッグストア・ホームセンター
- ◆コンビニエンスストア/セイコーマート・ローソン

## 公共施設



せたな町 B&G  
海洋センター艇庫



北檜山グリーンパーク



せたな青少年旅行村



せたな町民プール

- ・せたな町民体育館
- ・北檜山スポーツ公園
- ・丹羽スキー場
- ・せたなスポーツ広場
- ・せたな町 B&G  
海洋センタープール
- ・大成町民プール
- ・大成スキー場
- ・図書館（3区）など

お問い合わせ

移住相談ワンストップ窓口 北海道せたな町役場まちづくり推進課 まちづくり推進係  
〒049-4592 北海道久遠郡せたな町北檜山区徳島 63 番地 1 ☎0137-84-5111  
HP <https://www.town.setana.lg.jp>

せたな町 HP



北海道 せたな町移住案内

# せたなに吹く風を感じながら、 ゆっくりと、あずましく暮らす。

平成17年に、旧北檜山町・旧瀬棚町・旧大成町が合併して誕生したせたな町は、総延長約78kmの海岸線や狩場茂津多道立公園に指定されている標高1,520mの狩場山を有するなど、自然豊かなまちです。農業・畜産業・漁業を基幹産業とし、まちの中心部には清流日本一の一級河川後志利別川が流れています。

日本海を北上する対馬海流の影響を受けるため温暖で、東北地方に近い気候ですが、夏場は30度を超える日が少ないので避暑地としても人気があります。

海と山と川に囲まれて『あずましい』が実現できるまち、せたな町で暮らしてみませんか？

※「あずましい」とは、北海道弁で「落ち着く、リラックスできる」という意味です。

## ACCESS

### 【空港・駅から】

東京・羽田空港から函館空港まで約80分

函館空港からJR 函館駅まで約20分

JR 函館駅から長万部駅まで特急で約70分

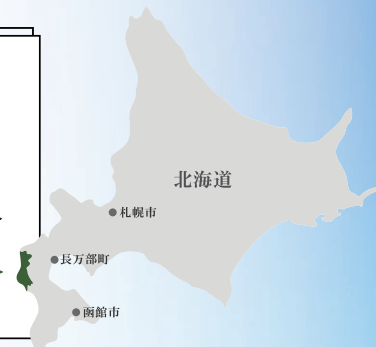
長万部駅から北檜山バスターミナルまでバスで約100分

### 【車の場合】

函館から車で約2時間

札幌から車で約4時間

せたな町



3 大ワイズスポット

### 三本杉岩



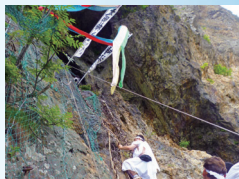
せたな町のシンボル、高さ30mの三つの巨岩『三本杉岩』。三本杉岩ごしに沈みゆく夕日はとても美しくフォトスポットとしても人気。

### 浮島公園



道南八景に選定されている「うぐい沼」に浮かぶ浮島が、風に吹かれてゆっくりと水面を漂う姿は神秘的。

### 太田神社



断崖絶壁にそびえる太田山（標高485m）にある北海道最古の歴史を誇る山岳霊場。道南五大霊場のひとつでもある。

3 大イベント

### 玉川公園水仙まつり



5月第2日曜日開催  
30種類30万球が咲き乱れる水仙と満開の桜が楽しめる。

### がっばり海の幸フェスタ IN わっためがして大成



7月最終土曜日開催  
ヒラメのつかみ取りや高級なアワビをまく「アワビ餅まき」、新鮮な魚介が味わえる。

### せたな漁火まつり



8月第1土曜日開催  
活ホタテ釣り堀りや町の特産品などを味わえる出店が並ぶ。約2,000発の花火も打ち上げられる。

## せたな町概要

人口DATA (2023.3.31 現在)

- ・総人口 / 7,060 人  
(男性 3,346 人 / 女性 3,714 人)
- ・世帯数 / 3,917 世帯

# 「日本一子育てしやすい町」を目指して せたな町への移住・定住をサポート！

町の中心市街地には、スーパー・ドラッグストア・ホームセンター・コンビニエンスストアなどがあり、買い物にはあまり不便さはありません。町内の医療機関への巡回バス、小中学校へのスクールバスも運行しています。また、函館市への直行バスの運行、高速道路・長万部及び八雲インターチェンジまでは車で約40分と交通の利便性はそれなりに良好です。安心して子どもを育てることができる町せたな町で生活してみませんか。



感性が育つ町

## 定住促進支援

せたな町には子育て世代にやさしい  
支援制度がたくさんあります！

生き物や土にふれる機会が多いので、幼少期から普段できないような体験をすることで感受性を育む。



### 保育料の負担軽減

3歳児以上の保育料を無償化にするなど、国の基準よりも大幅に低く設定。  
※待機児童はおりません。



### 子どもの医療費助成

町内に住所を有する高校3年生までの医療費を完全無償化。

### 出生祝金制度

町内に住所を有する新生児に対し、3万円を支給。

### 給食費の負担軽減

学校給食費は無償。

### 結婚定住奨励事業

夫婦のどちらかが町に居住し、婚姻後夫婦ともに5年以上の定住意志がある方に、せたな町共通商品券10万円分を交付。

### 移住定住促進住宅奨励事業

町に居住または、転入予定の方が町内に住宅を新築・購入する場合に奨励金を交付。  
町内業者による住宅新築の場合100万円、  
町外業者による住宅新築の場合30万円、  
中古住宅購入の場合20万円。

### 通学定期運賃の補助

町内に住所を有する高校生に対し、北海道檜山北高校への通学定期運賃の一部を補助。

## せたな町お試し暮らし住宅

### 【太櫓住宅】



所在地 / せたな町北檜山区太櫓 111-6  
※日本海沿いの漁村部

### 【丹羽住宅】



所在地 / せたな町北檜山区丹羽1番地5  
※田園風景が広がる農村部

#### 太櫓・丹羽住宅 共通事項

- 利用条件 / せたな町へ移住を検討している方で原則20歳以上の夫婦とその家族
- 利用期間 / 2週間～3ヶ月  
※6・7・8月の利用は最長1ヶ月となります。  
(予約がない場合、3ヶ月まで延長可能)
- 料金 / 1,500円 / 日  
※光熱水費込(11月～4月は冬期暖房料金500円 / 日)

## — POINT —

市街地から離れているため、車があると便利です！

### 分譲地information



## country life.

体験してみませんか？  
このまちのあずまじさを。

### 川浴地区

- ・面積 / 302.14 m<sup>2</sup> ~ 331.95 m<sup>2</sup>
- ・販売価格 / 9,600 円 / m<sup>2</sup>  
(坪あたり 31,680 円)
- ・販売区画 / 4区画

### 夕陽が丘

- ・面積 / 319.58 m<sup>2</sup> ~ 495.62 m<sup>2</sup>
- ・販売価格 / 土地代 1 m<sup>2</sup>あたり 8,000 円  
(坪あたり 26,446 円)
- ・販売区画 / 8区画  
(R5. 4現在)



CASE3

|              |
|--------------|
| From         |
| 兵庫 県         |
| ▼            |
| 移 住          |
| ▼            |
| 阿江 邦彦さん (34) |
| うつきさん (40)   |
| 職業：酪農家       |
| 家族構成：夫婦・子2人  |
| 移住歴：4年       |

Q. 移住のきっかけ

A. 道内で就農することを目指して候補地を探していましたが、学生時代の先輩がせたな町に就農していたので訪ねてみたのがきっかけです。

町の「移住体験ツアー」にも参加し、景色や雰囲気が入り、受け入れ農家さんや町の担当者が親身になって相談に乗ってください、安心して移住できると感じ決意しました。

Q. 町の子育て環境

A. 子ども達を自然豊かな環境で育てたいという強い思いがあり、せたな町は海・山・川と揃っていて、動物と触れ合える環境が身近にあるのも良さのひとつだと思います。また、町では「子ども園の保育料無償化」

や「高校生まで医療費の無償化」など、多くの子育て世代へのサポートが手厚いです。

Q. 移住してみようと思ったこと

A. 当初から考えていた「道内で就農」という夢を2年前の牧場開設により叶えることができたので、これからは長く続けながら発展できればと思います。

また、妻や子どもたちとの家族の時間も多く作ることができるようになったのも、せたな町へ移住してよかったことのひとつです。



CASE1

|              |
|--------------|
| From         |
| 広島 県・静岡 県    |
| ▼            |
| 移 住          |
| ▼            |
| 平川 賢一さん (51) |
| 恵美さん (47)    |
| 職業：酪農家       |
| 家族構成：夫婦・子2人  |
| 移住歴：12年      |

Q. 移住のきっかけ

A. 十勝の酪農家に住み込みで働き始めたことを機に道内へ移住したいと思うようになり、道内でも温暖で札幌や函館など都市部へのアクセスのしやすさも大きなきっかけです。

Q. 町の子育て環境

A. 町の人たちが子どもたちの顔を覚えてくれていることもあり、安心感があります。また、町全体で子どもを見てくれるような雰囲気もあり、子育て環境には満足しています。

Q. なぜ6次産業化へ

A. 移住して1年が経ち酪農経営もある程度安定してきましたが、需給緩和の情勢下における将来の成長を考えると、規模拡大

による成長は望めませんでした。そこで、農業が生み出す多面的な価値というものに着目し、相乗効果が期待できる生乳生産以外の事業化を進めていくことにしました。

まずは、自家生産のミルクを使用したアイス作りに取り組むことを決め、令和2年から工房を持ち販売を始めました。現在は町内だけでなく、近隣町村や本州へも販路が拡がり今後は海外販路も開拓していきたいと思っています。



Q. 移住を検討している方へメッセージ

A. せたな町は、「自然豊かな環境で子育てしたい」、「就農に向けて頑張りたい」というような理想を叶えることができます。

少しだけ不便なことはありますが、都会では味わうことのできない田舎でのスローライフを満喫してみませんか。

Q. 移住のきっかけ

A. 道内で農業ができるような場所を探していて、役場や農協の方に親身に声をかけてして頂いたことがきっかけです。

Q. 町の子育て環境

A. 移住当初は子ども達も小さく医療面でも不安もありましたが、当時の瀬棚診療所では外来だけでなく、入院にも対応していたことを心強く感じました。

Q. 移住してみようと思ったこと

A. まず始めに長年思い描いていた「農業をやりたい思い」が実現できたことが一番です。

当初は農業といっても右も左もわからない中、周りの先輩農家からの親身な対応が、

※由来はラテン語で oryza というお米の学名。



|              |
|--------------|
| From         |
| 石川 県・三重 県    |
| ▼            |
| 移 住          |
| ▼            |
| 横山 一康さん (55) |
| タミさん (53)    |
| 職業：農業        |
| 家族構成：夫婦・子4人  |
| 移住歴：22年      |

Q. 移住を検討している方へメッセージ

A. せたな町の温かい人々、この素晴らしい大自然に支えられ、今の私たちがいることに感謝しています。

移住をお考えの皆さん！ 私たちと一緒に「せたな町」で豊かな人生を歩んでいきましょう！

Q. 移住のきっかけ

A. この町は新規就農による移住者が多く受け入れてくれる地元の方々の雰囲気や心地よく感じられたこともきっかけのひとつです。

また、羊と関われる仕事を探しているなかで、町内に羊を扱っていた牧場があり、そこで5年間働いた後に新規就農へ向けた準備を進めることが出来たことも大きいです。

Q. 町の子育て環境

A. せたな町での子育てで大きく感じているのは「保育料の無償化」、「高校生までの医療費無償化」だと思います。

これは都市部ではなく小さな町だからこそできることで、このほかにも近所の方が自分の子どもたちのように見守ってくれているのも、とても安心できます。



CASE4

|              |
|--------------|
| From         |
| 神奈川 県・岩手 県   |
| ▼            |
| 移 住          |
| ▼            |
| 小野 直輝さん (41) |
| 智子さん (41)    |
| 職業：畜産業       |
| 家族構成：夫婦・子3人  |
| 移住歴：17年      |

Q. 移住を検討している方へメッセージ

A. 移住するにあたってのイメージや理想と、実際移住してみても現実とのギャップは少なからずあるものだと思います。それを自分たちの中でどのように受け止めて、解消あるいは転換していくかが重要なことだと思います。

Q. 移住のきっかけ

A. 自然が豊かなのはもちろんですが、自分たちが思っていた「羊と関われる仕事」にも牧場開設により叶えることができました。

今では、家族で暮らす時間の大切さを改めて感じるようになりました。

また、せたな町は新規就農者が多い地域なので、同じ悩みを持った仲間が共有できるというところは、本当に心強く感じています。



CASE2



Q. 移住を検討している方へメッセージ

A. 移住するにあたってのイメージや理想と、実際移住してみても現実とのギャップは少なからずあるものだと思います。それを自分たちの中でどのように受け止めて、解消あるいは転換していくかが重要なことだと思います。

Q. 移住のきっかけ

A. 自然が豊かなのはもちろんですが、自分たちが思っていた「羊と関われる仕事」にも牧場開設により叶えることができました。

今では、家族で暮らす時間の大切さを改めて感じるようになりました。

また、せたな町は新規就農者が多い地域なので、同じ悩みを持った仲間が共有できるというところは、本当に心強く感じています。